

東日本旅客鉄道株式会社社長 深澤祐二 殿  
水戸支社長 小川一路 殿

## 帰還困難区域での常磐線の運行停止を求める署名

2021年2月13日23時8分頃、福島県沖でマグニチュード7・3最大震度6強の地震が発生しました。(福島第一原発のある双葉町、大熊町では震度6弱を記録)。原発直近3kmの常磐線を列車が運行している時間帯に同じような地震で被災したら、乗客・乗務員が避難することは困難です。

2021年1月、福島第一原発の原子炉の蓋が深刻なレベルで汚染されていることが報道されました。セシウム137の放射線量が、2号機では2京～4京ベクレル、3号機では3京ベクレル(京は1兆の1万倍)で、1時間そばにいれば人が死に至る数値です。

2020年2月の東京新聞で、帰還困難区域を5日間試運転した車両のモーターフィルターに付着した塵の放射線量は、その区域を運行していない車両の約23倍であることも報じられています。

2021年2月、当団体の計測で、大野駅～双葉駅間の特急ひたち客室内で、最大0.76マイクロシーベルト/毎時が測定されています。

年間20ミリシーベルト以上の、いまだ住民が住めない双葉町、大熊町に列車を走らせることは帰還を強制することです。乗客、乗務員を被曝の危険にさらすなど鉄道会社としてあってはならないことです。

また、被災した老朽原発である東海第二原発の再稼働は、福島と同じような事故を繰り返す危険があります。

よって以下3点について申し入れます。

1. 帰還困難区域において常磐線列車運行をとりやめること。
2. 車両、線路、鉄道敷地、駅について定期的に放射線量を測定し公表すること。
3. 東海第二原発の再稼働に反対の立場を表明すること。

氏 名	住 所

第1次署名集約日：2021年5月31日

呼びかけ：茨城県労働組合交流センター  
茨城県水戸市三の丸3-1-3  
080-3019-4787 (石井真一)